

F900A/D/J トランサムドーリー部品図

⑬ タイプにより下記の
タイヤが付随します

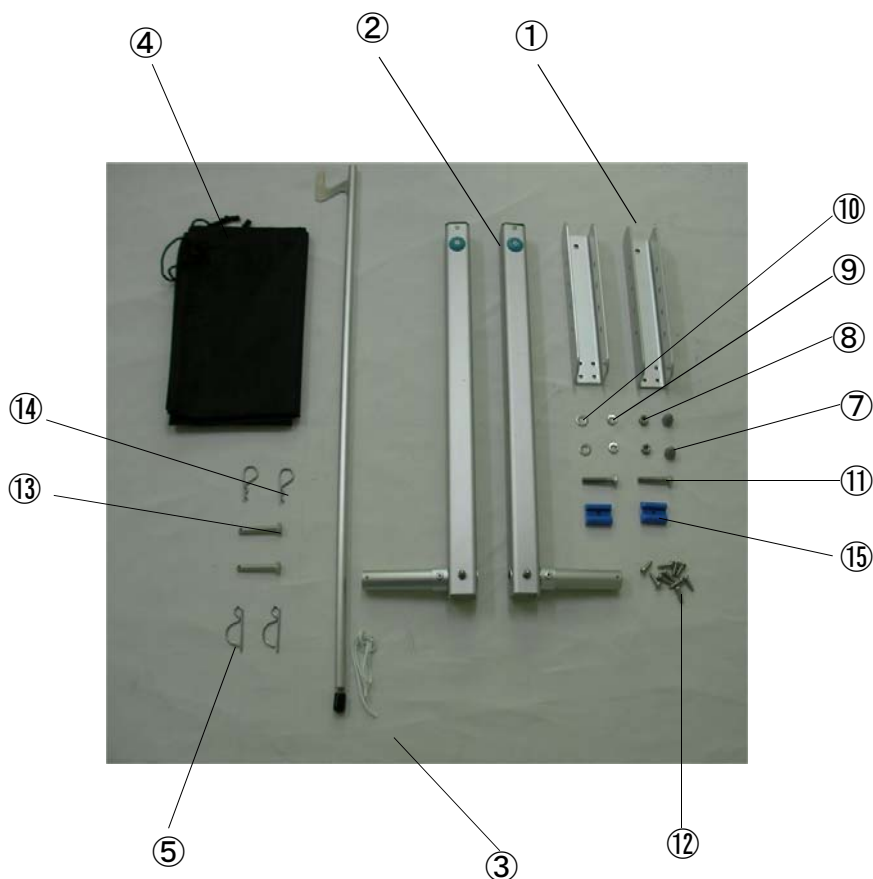
TA30J Jタイヤベアリング



TA30A Aタイヤベアリング



TA30D Dタイヤベアリング



写真NO	品番	品名	使用数量	税別単価
------	----	----	------	------

①	Z840	トランサム用ブラケットのみ(アルマイト付)L=250mm	2	¥4,300 +税
②	Z848	F900用メインフレーム38角シャフト、擦止付 550mm	2	¥6,000 +税

下記はZ848組込済品です、交換時の単品購入は可能です

②	Z847	F900用車軸シャフトアルミ 25.4φカラー組込	2	¥2,200 +税
②	P04-5-45	SUS六角ボルト5-45	2	¥35 +税
②	P06-05	SUSワッシャーM5	4	¥5 +税
②	P05-05	SUSスプリングワッシャーM5	2	¥6 +税
②	P18-05	SUS袋ナットM5	2	¥45 +税

③	F840	トランサムドーリー用跳上バー ロープキャップ付	1	¥1,800 +税
④	JL200N	タイヤ用(F800/900)ナイロンバッグ黒 600x710	1	¥800 +税

ハックセット(ビニール袋入り)

⑤	Z521	Dリング 車軸用	4	¥240 +税
⑦	P18-16K	M8ナット用キャップビニールF900用	2	¥50 +税
⑧	P07-08	SUSナットM8 ブラケット上部固定用	2	¥30 +税
⑨	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8 ブラケット上部固定用	2	¥10 +税
⑩	P06-08	SUSワッシャーM8 ブラケット上部固定用	2	¥9 +税
⑪	P04-8-45	SUS六角ボルト8-45 ブラケット上部固定用	2	¥75 +税
⑫	P01-TP6-20	SUSプラスナベッティングビスA6-20 ブラケット用8本、当てレール用2本	10	¥30 +税
⑬	P17-16	ボルトM8-55 テンゾウナシ(ピン)BY、ホール、F800 フレーム回転軸用	2	¥210 +税
⑭	P13-130	Rピン 2.3ミリ フレーム回転軸用	2	¥160 +税
⑮	JL104-38	F800/900用当てレール38mmカット フレームのガタ止め用	2	¥80 +税
⑯	TA30A	Aタイヤベアリング 4.80/4.00-8ホス幅82mm	2	¥8,200 +税
⑯	TA30J	Jタイヤベアリング 16x6.50-8ホス幅82mm	2	¥10,900 +税
⑯	TA30D	Dタイヤベアリング 410/350-5ホス幅82mm	2	¥4,200 +税

F900 トランサムドローリ取り付け説明書

取り付け例を示します、艇によって取り付けできない場合がありますので必ず穴を開ける前に取り付け確認を行ってください。
個人でお取り付けになる場合は専門的な知識のある方やその補助を受けて取り付けてください。
取り付けに自信の無い方は専門店に取付をお願いしてください。



トランサムに仮当てを行いエンジンを切った時にフレーム及びタイヤが当たらないか確認してください。
基本的にはトランサムドローリは跳ね上げ後、取り外して船内に收容し走行しますが、跳ね上げて使用する場合は危険のない状態でご使用下さい。

トランサムに仮当てを行いフレーム及びタイヤが回転する際にチューブにタイヤが擦れないか見てください。

注意 インフレーターボートにはJタイヤは取り付け出来ません、タイヤがチューブに干渉します。

タイヤとチューブの隙間を確認します、トランサムドローリは出来るだけ外に装着した方が安定は良くなります。
トランサム上部に穴の開いている艇の場合はまずはその穴を利用して装着出来るか確認してください。

FRP艇への取り付け注意



FRP艇への取り付けは、船体製造メーカー様にトランサムの強度を確認して指定の位置に取り付けてください。
取り付けの再には写真の様に嵩上げが必要になる場合があります(ガンネルが出ているのでほとんどの艇で必要です)



アルミボートやトランサムの薄い船は裏当てをしてボルト、ナット、で固定してください。(ボルト、ナット、は6mmのネジをお買い求めください)



嵩上げをする場合同封のボルト等は使用出来ませんので別途長さの合うボルトをお買い求めください。
このタッピングビスで取り付ける部分をM6の貫通ボルトに変更します

注意！

トランサム形状が円弧形状、極端な傾斜がついている場合は取り付け出来ません。
(円弧形状の場合はこの嵩上げの木材を斜めに加工してトランサムドローリが直角に装着出来るようにします)



FRP艇、アルミ艇、用嵩上げスペーサー別途販売しています、左図(ボルト入り) 品番 F822 1,700+税

厚さ30mmのアルミ角パイプです、トランサムのガンネル(船の淵)が出っ張っている船に付けます。
ガンネルが30mm以上出ている場合は別途、木製のベース等製作する必要がある場合も有ります。

● ご使用上の注意

- ① フレームを降ろした状態での走行や帰港時の直接乗り上げはしないで下さい。一旦ボートから降りて引き上げて下さい。
- ② 本体の使用荷重はエンジン、装備等含めた船体重量80Kg以内でご使用ください。
- ③ ボート移動の際無理な力で押したり引いたりしないで下さい。基本的には引いて使用しますが移動中に艇によりタイヤに抵抗が掛かる場合がありますのでその場合は押しで使用して下さい。
- ④ 傾斜地では横転の恐れが有りますのでご注意ください。
- ⑤ フレームの回転は必ずエンジンを止めて行ってください。走行時は基本的には取り外して下さい。
- ⑥ 定期的にブラケットの取り付け等点検をして下さい。異常が感じられた時は使用を中止して下さい。
- ⑦ タイヤ空気圧は0.8Kg～1.0Kg以下にてご使用ください。
- ⑧ 車内等に入れる場合は多少空気圧を落とし、常時窓を開けて換気してください。
- ⑨ 直射日光の当たる所で保管しないようにして下さい。

F900 トランサムドローリ取り付け説明書(インフレーターボートの場合を示します)

このたびはトランサムドローリ(F800)のお買い上げありがとうございます

梱包内容をご確認の上お取り付けください。

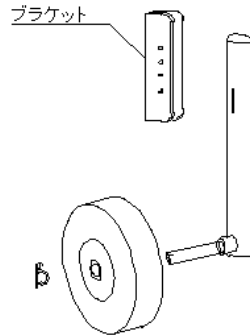
F900 トランサムドローリ

A F900用メインフレーム38角シャフト付の組立

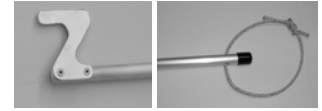


用意する工具

- ドライバー
- スパナ(8mm用)もしくはレンチ
- シーリング剤(一番小さいチューブでも可)
- ドリル+4mmのキリ(船によっては8mmも必要)



- 1) タイヤをシャフトに入れ、ディーリングで止める。
- 2) ブラケットとフレームに固定ピンを通し、Rピンで止める。フレームを回転させた時タイヤが艇に当たらない位置にピンを固定して下さい。



引き上げ棒はロープを通しキャップをはめて組み込みます。使用時はロープを手首に通し落下防止に使用します。



①

トランサムに合わせ、8mmの穴を開けて(穴の有る艇はそのまま利用して)M8 x45ボルトを平W、スプリングW、ナットにて仮固定します。添付のナイロンキャップは完成後ナットに被せます。

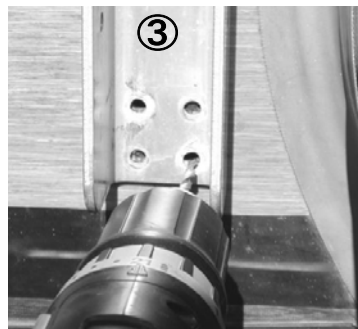


②

先に上側を固定します。

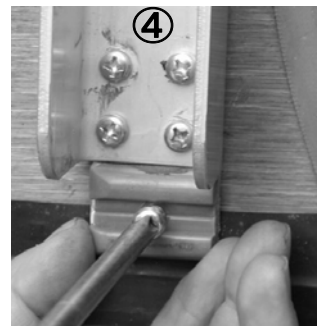


各穴部にはシリコン等水止め剤を注入して下さい。



③

ブラケット下部の固定を4mmのドリルで穴けします(インフレーターボートは付属のタッピングビス4本止め、FRP艇は随時適合するM6ボルト2本止めします)



④

当てレールはメインフレームのガタ防止として取り付けます、写真の向きに同封のM6タッピングビス1本で固定します。



⑤

固定ピン

タイヤを持ち上げてタイヤが船底に擦らない位置で固定ピンを止めて下さい。



⑥

指で指示している丸い擦れ止めがタイヤを跳ね上げた時に外側になるようにフレームをセットして下さい、フレームのガタ止めとなります。



⑦

各部のネジを増し締めして作業完了です。船体の注意書、等がフレームにより隠れてしまう場合は、注意書を移動して取り付けてください。

注意書



出艇イメージです

跳ね上げ棒の使用方法



跳ね上げ棒の先端のN字部分で車軸を押し下げて写真の様に引き上げて下さい。上下の際には艇外に乗り出さないようにして下さい。

船体の仕様銘板、取扱説明書、記載に干渉する場合があります、可能な場合は移動願います。移動不可の場合はお客様のご判断にて取付願います

タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。
当社エアータイヤにつきまして下記のことに注意してご使用下さい。

TA30F / TA30G / TA30J (F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ) (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チューブレスタイヤです、チューブは入っていません。
- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず 0.8KG 以下でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとタイヤの内圧が下がりチューブレスタイヤの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々チェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置しますとタイヤがヒビ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にブロック等を入れておくと良いでしょう。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

TA30A(A タイヤ) (アルミランチャー、トランスムドロー等) に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用タイヤ(外側) チューブ、別途販売しています、適宜交換下さい。

TA30D(D タイヤ) (マルチドロー、Z071 前輪、等) に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0KG~1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります、ベアリング部にはグリス等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ベアリング分は良く水洗して下さい。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合がソリスタント等においてある自動車、バイク用、空気入れで入れられます一般用自転車用空気入れではバルブ形状が合いません、詳しくはHPご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1